



お名前：

ハプロ：

記入日

▼ ワークの目的

自分にとっての”受け継ぐ”を考え、その背景にある自分のハプロらしさを発見する

「何を残したいか」だけではなく、
「なぜ残したいのか」「誰に、どんな形で残したいのか」「残らなくてもいいものは何か」を考えながら、
自分が何に価値を置いているのかを探ってみましょう

1

あなたにとって”受け継ぐ”とは？

「受け継ぐ」と聞いて、どんなことをイメージしますか？

2

あなたが「未来に残したいもの」は何ですか？

今、自分が大切にしているもの、頑張っていること、身につけてきたものの中で、「これは自分だけで終わらせず、未来に残したい」と思うものはありますか？
仕事、知識、技術、文化、習慣、家族のこと、考え方、人とのつながり、作品、お金や物など、何でもOKです。

3

なぜ、それを残したいのでしょうか？

4

誰に、どんな形で受け継いでほしいですか？

2で挙げたものについて、もし受け継いでもらえるなら、誰に、どのように受け継いでほしいですか？
例：「子供や家族に」「自分と同じ志を持つ人に」「特定の誰かでなくてもいい」「直接教えたい」
「本や文章として残したい」「仕組みに残したい」「見て学んでくれればいい」など

5

自分と同じように受け継いでほしいですか？ それとも、その人なりに変えてもいいですか？

6

あなたにとって”受け継ぐ”とは？



私にとって”受け継ぐ”とは、

だ。



同じハプロの人と話して、まとめてみよう。



ハプロ〇にとって”受け継ぐ”とは、

だ。